

別紙様式

尾張旭市人・農地プラン検討会会議録

1 開催日時

平成26年12月25日（木）

開会 午後 2時30分

閉会 午後 3時30分

2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎3階 303会議室

3 出席委員

水野覚、小関ひろ子、樋口みよ志、水野洋子、中川和彦（佐野公一）、
祖父江正、谷口亘弘 計7名（ ）は代理出席者

4 欠席委員

若杉致由 計1名

5 傍聴者数

なし

6 出席した事務局職員

産業課長 加藤仁亜貴、産業課係長 周防康尚、産業課主事 塚本和資

7 議題等

- (1) あいさつ
- (2) 報告事項
- (3) 会長・副会長の選出
- (4) 会長あいさつ
- (5) 尾張旭市「人・農地プラン」の概要について
- (6) 尾張旭市「人・農地プラン」（案）について

会議の要旨

あいさつ（産業課長）

4月から人・農地プラン作成に係る事務を進めてまいりました。11月に地域の農業者を対象とした地域懇談会を開催し、その後ホームページでも意見を募集してまいりました。本日の検討会を経て正式にプランとして決定したいと思いますので、よろしくお願いします。

報告事項

事務局より、この検討会は市の「附属機関の会議の公開に関する基準」に基づき、傍聴を認めていること。また、「附属機関の会議録を公表することについて説明し、了承をいただいた。

会長・副会長の選出

委員からの推薦により、会長に水野覚委員、副会長に若杉致由委員を選出した。

会長あいさつ
会長あいさつの後、議事進行。
尾張旭市「人・農地プラン」の概要について
尾張旭市「人・農地プラン」(案)について
事務局より資料に基づき説明、次のとおり各委員から意見が出された。 (学校給食に利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・米価が大幅に下がり収入が不安定な状況です。収入が安定しないと離農も考えなくてはならない。学校給食に尾張旭市産の米を使ってもらうことはできないでしょうか。 ・経済連を通して学校給食会に愛知県産米として卸しているので、自身の生産した米を直接販売するとなると農協を通さず販売する必要があると思います。
(米価の安定)
<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド米として売り出すなど付加価値をつけることなども検討してみてはいかがでしょうか。 ・尾張旭市では農協が苗の用意、乾燥調製を行い、全量出荷するという条件でオペレーターを連れてきた経緯があり、独自の販路が無いため販路を今から開拓するのは難しい。
(認定農業者の経営圧迫)
<ul style="list-style-type: none"> ・農地の所有者は、自分の土地を農地として確保できればいいと考えているが、預かって管理しているのは私達です。これだけ米価が下がると、年間管理費を払っていては、完全に赤字になってしまいます。今後も農地を守るためにには、本当は私たちが管理料をもらいたいくらいです。 ・土地所有者にもこのような現状を知ってもらいたいと思います。このままでは、機械が故障しても更新ができません。 ・管理料をとるとなると預けないという人が出てきて、耕作放棄地が増加することも考えられるので、その対策もしていく必要があると思います。 ・プランの内容自体は目標としていいと思います。ただ、現実問題として農業が継続していくけるような方法についても市や農協に考えてもらいたいと思います。
(事務局より)
<ul style="list-style-type: none"> ・米価については全国的な問題であり、市長会等を通して米価対策等についても各市町から要望が上がっているので、本市でも引き続き要望していくたいと思います。
その他
事務局の示した案に変更の意見はなしで検討会を終了した。